

日本医療薬学会 がん専門薬剤師

高橋 喜統 先生

勤務先：金沢医科大学病院

出身地：石川県七尾市

資格取得年：2012年1月

1. 資格取得のきっかけは何でしたか？

血液内科病棟を担当し、強力な化学療法を実施している患者さんと業務を通して接しているうちに、がん治療に対する興味を強くもつようになっていたところ、がん治療委員会の委員となり、日々の業務および委員会活動を行っていました。そのうちがん専門薬剤師認定制度ができたこと、当院が地域がん診療連携拠点病院として承認されたこともあり、資格を取得しようと思いました。

2. 資格取得の最大の難所はどこでしたか？

専門的介入 50 症例分のサマリー提出です。通常の薬剤管理指導業務の介入レベル以上の、専門薬剤師としての介入が必要とされている上に、症例サマリーを書くことに慣れておらず苦労しました。

3. この資格のやりがいは何ですか？

当院におけるがん治療に関する安全管理の責任の一端を担っており、時には困難なこともありますが、期待されている面もあり、非常にやりがいを感じています。

4. 普段のお仕事でこの資格はどのように活用されていますか？

資格を活用しているとは感じておりませんが、資格を取得しているということで化学療法委員会の委員として、院内のがん薬物療法における相談窓口となっております。

5. 資格を取得して良かったな、と感じる事柄はありましたか？

資格を取得することで専門知識と技術を有する者として、他職種から認められることになり、様々な相談を受ける度にやりがいを感じます。

6. 医師や看護師などのディスカッションで気をつけていることはありますか？

支持療法については根拠に基づいた提案・サポートを比較的実行しやすいですが、治療の中止や延期を提案する場合には、治療効果の低下すなわち生存期間や症状の変化に影響することがあるため慎重に情報提供をします。

7. 患者さんに接する際に気をつけていることはありますか？

それぞれの患者さんで説明に対する受け取り方が異なるため、患者さんの背景や心情に関する状況をなるべく集めて、接するようにしています。

8. その他、苦心したり気を遣うことはどのようなことでしょうか？

医師からの説明内容、看護師からの説明内容を把握し、薬剤師からの説明内容との食い違いがないように注意しています。

9. この資格を目指している後進へ何かアドバイスを！

石川県は、病院薬剤師会がん治療委員会や、がん専門薬剤師チームによる研修会や症例検討会、緩和医療、その他様々な研究会があります。きっと資格取得に役に立つと思いますので、是非、積極的に参加して下さい。

10. この資格の取得要件を教えてください。

次の①から⑦までの要件を満たしていること。

- ① 日本国の薬剤師免許を有し、薬剤師として優れた人格と見識を備えていること。
- ② 薬剤師としての実務経験を5年以上有すること。
- ③ 日本医療薬学会の会員であること。
- ④ 日本医療薬学会認定薬剤師、日本病院薬剤師会生涯研修履修認定薬剤師、薬剤師認定制度認証機構により認証された生涯研修認定制度による認定薬剤師あるいは日本臨床薬理学会認定薬剤師であること。
- ⑤ 日本医療薬学会が認定するがん専門薬剤師研修施設において、日本医療薬学会の定めた研修カリキュラムに従って、がん薬物療法に関する5年以上の研修歴を有すること。
- ⑥ 日本医療薬学会が認定するがん領域の講習会を50単位以上履修したこと。
- ⑦ がん患者への薬学的介入症例サマリ50症例（3臓器・領域以上のがん種）を提出すること。